

第 387 回研究報告会 (2026 年 5 月 14 日)

「意味が重複する表現」

蜂矢 真弓 (天理大学人文学部准教授)

現代日本語において、意味が重複する表現が発生する際に一番多く見られるのは、同じ意味を表す音読みと訓読みが混在する場合である。これは、表記上では意味が重複していることが分かるが、口頭では音読みと訓読みとで異なるため、意味が重複していることに気付かずに発生してしまうものと考えられる。

一方、古代日本語、或いは、古代から現代の日本語において、意味が重複する表現が発生するのは、次の 3 種である。①同じ意味を表す二語のうち片方が一音節語である場合、②一音節語の同音衝突回避のために多音節化した場合、③被覆形・露出形の両形が含まれている場合である。

まず、①は一音節語の方の語彙が形骸化した結果、②は同音衝突回避のうちの 1 つの方法である別の多音節語に置き換えるという方法を取ることによって形骸化した結果、③は被覆形・露出形の両形を持つ被覆形が複合語内に形骸化した結果、それぞれ意味が重複する表現が発生してしまったものと考えられる。

第 388 回研究報告会 (2026 年 6 月 29 日)

「神道本局時代の天理教についての歴史的考察—教会公認運動と一派独立の決意に至るまで—」

金子 昭

天理教は、明治 21 年に神道本局直轄教会になり、これによって念願の布教公認・教会公認を果すことができた。明治 41 年には一派独立して、教派神道十三派中の一派となる。天理教はその後も昭和 45 年に教派神道連合会を退会するまで、公的には「神道」の一派としての存在を 82 年間も続けていくことになるのである。本発表は、私が一連の天理教史研究の中で行っているもので、今回はとくに神道本局傘下の時代 (明治 21 ～ 41 年) を取り上げ、天理教の「神道化」の初期過程を考察した。

天理教の「神道本局」時代の重要性は、「おさしづ」時代がほぼ全てここに入ること、そして中山眞之亮初代真柱の青壮年時代の主要部分が全て入ることだ。この時代は、本席による「おさしづ」の精神的・信仰的指導と、初代真柱 (教長) による教団行政的指導との両輪体制の下で、内的にも外的にもダイナミックな展開を見せた時期である。

明治初年の神道国教化政策の時期とは異なり、この時代は同じ国家神道体制であっても、宗教教派としての「神道」の地位はすっかり低下していた。ただ、神道本局 (正式名称は単に神道) は維新当時から継承 (かつての大教院) によるもので、天理教が布教公認のため、この傘下に入る主たる理由もここにあった。そして、それによって、「かぐらづとめ」が初めて官憲の目を恐れずに勤修できるようになった。明治

21 年に天理教は「神道天理教会規約」を定めたが、それは神道本局の祭神を奉戴し、三条の教憲を遵奉するなど、教規上も天理教の「神道」化を進める内容であった。だが、それは「応法の道」以外の何物でもなかった。そのため、「おさしづ」にもしばしば手厳しい表現が見られ、これに対して警戒を促しているのである。

教理的にも相矛盾するものを抱えながら、天理教は“神道・天理教会”として信仰生活の二重構造を強いられ、苦渋の道を歩まざるをえなかった。神道本局との関係においても、天理教は神道本局傘下随一の巨大教会として、経済的に神道本局を支えることになる。天理教側としては、経済的負担は、布教公認・教会公認を得るためのいわば代償だった側面がある。こういう中から、一派独立への機運も高まってくるのである。



研究報告会の様子

連載執筆のねらいと執筆者紹介

「熊本地震と私—災害支援に学んだこと」

茶木谷 吉信 (天理教正代分教会長)

我が国では、毎年どこかで災害が発生する。海水温の上昇や地殻変動の活発化などが原因とされているが、「まさか私が被災するとは」との声が等しく被災地から聞かれる。

その中、天理教のようばくは常日頃からたすけ心の涵養を心がけているせいか、被災地支援に対する関心が高く、行動力も一般人に比べて群を抜いているように見受けられる。

こうした天理教信者の地域に貢献したいという思いに対し、いかにすれば支援を必要とする人と繋げられるのか、どのような準備をすれば「せかい」の困りごとに対応できるか、ささやかな体験をもとに考察してみた。今後の災害支援活動の何らかの参考に資するならば、望外の喜びである。

茶木谷吉信 (ちゃきたに よしのぶ)

1960 年熊本県菊池市生まれ。1983 年熊本大学文学部哲学科卒。1984 年天理教正代分教会長。2023 年大江大教会布教部長。認定心理士。玉名市主任児童委員。熊本刑務所教誨師。(株) 養徳社社外取締役。著書に『世界たすけに活かすおやさまご逸話』(養徳社)『心に吹く風』(道友社)がある。